

# CONTENTS

- 年頭のあいさつ ..... 2  
稲嶺知事年頭のあいさつ
- 県政フラッシュ ..... 4
- 特集1 ..... 6  
新春すごろく! 2006年沖縄早わかり
- 特集2 ..... 8  
おきなわ花と食のフェスティバル
- 特集3 ..... 9  
県の人事行政の運営
- ハイサイうみとも 海のともだち ..... 12  
「フリソデエビ」
- うちな〜かこぶ ..... 14  
エスカル・クッキングスタジオ 主宰 安谷屋純一さん
- 県のうごき1 ..... 16  
県や市町村への手続きをインターネットで!
- 県のうごき2 ..... 17  
消費生活に関する条例を改正します
- 情報ひろば ..... 18  
お知らせ
- お届けします! わした便り ..... 20  
■ 与那国町 「第13回日本最西端与那国島一周マラソン大会」  
■ 北大東村 「秋葉神社例祭」
- 石獅子見聞録 ..... 21  
南城市玉城字糸数

●表紙写真  
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を紹介します。  
1月号表紙写真【小浜島】  
カメラマン：北島清隆 <http://k-kitajima.net>

■ 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について ■  
沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、県内各地域の情報をわかりやすく県民のみならずお伝えする冊子です。  
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

沖縄県広報協会(県広報課内) TEL:098-866-2020

# 年頭のあいさつ

新年あけましておめでとございませう。

県民の皆様には、希望に満ちたすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、戦後六十年の節目に当たり、平和への思いを新たにす一方、世界各地で今なおテロや紛争等が頻発する国際情勢に、世界平和への道程の険しさを痛感させられた年でした。

我が国においては、小泉総理の強い指導力の下、郵政民営化法が成立し、日本再生に向けた構造改革に弾みがつくとともに、地方分権化にも一層の拍車がかかり、自己決定と自己責任による自治体運営が求められています。

一方、本県では、世界最大規模の国際会議である米州開発銀行(IIDB)年次総会が開催され、参加国の首脳をはじめ内外から高く評価されたことは、コンベンション・アイランド沖縄の形成に大きな自信となりました。

また、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の発足は、沖縄科学技術大学院大学の早期開学への推進力となるばかりでなく、本県の科学技術の拠点づくりに向けた大きな一歩であります。

さて、今年、沖縄振興計画が折り返し点を迎え、第二次の分野別計画の二年目に当たります。

本県経済は、観光客数の堅調な伸びや県内への企業立地数の着実な増加等により、景気は回復しつつありますが、若年者の雇用情勢は依然として厳しい状況にあり、産業振興による雇用の確保は大きな課題です。

このため、同計画に盛り込まれた事業・施策を着実に推進するとともに、民間主導の自立型経済の構築に向けた環境整備への取り組みを積極的に進めてまいります。



また、県政の重要な課題である米軍基地を巡っては、昨年十月の米軍再編協議に係る中間報告において、普天間飛行場をキャンパ・シユワフ沿岸部に移設する案が示されましたが、県外移転を求める県の基本的考え方とは全く相容れないものであることから、県民の目に見える形での米軍基地の負担軽減に最善を尽くします。

さらに、世界中の県系人が集う第四回世界のウチナインチュ大会の開催や本県で二回目の開催となる太平洋・島サミット成功に向けて全力を尽くすとともに、環境・福祉医療、安全・安心な生活の確保、離島振興等に積極的な力を注いでまいります。

今後とも、県政に対して一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、新しい年が幸多き年でありますよう祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

平成十八年一月二日

沖縄県知事 稲嶺 恵一

